第18号

令和4年度 長崎市立長崎中学校 学校だより

## 一步前進

R4.12.23 発行 校長:種吉 信二

## 冬休みを迎えるにあたり

先日の寒波よりもさらに強い寒波が襲来するという予報があり、終業式の前日に急遽通知表を配付しました。ご覧になっていただけたでしょうか。生徒の皆さんは今学期も真剣に学習に取り組んで、それぞれ2学期が始まったときよりも着実に成長を果たしています。数値では表せないお子様の進歩を確認するともに、お子様が課題改善のための取組を励ましてくださるようお願いします。

終業式は寒さ対策と感染症対策を兼ねて、体育館ではなく社会科室から各教室をオンラインで結んで実施しました。終業式で生徒にお話しした内容をお知らせします。

サッカーのワールドカップがメッシ率いるアルゼンチンの優勝で幕を閉じました。日本は優勝経験のあるドイツやスペインを破って一次リーグを首位で通過し、決勝トーナメントに進みました。決勝トーナメント1回戦では前回大会準優勝、今回の大会で3位となったクロアチアにPKで惜しくも敗れてしまい、目標としていたベスト8には届きませんでしたが、多くの感動を届けてくれました。

この日本の躍進を支えた選手に堂安 律選手 がいます。日本が勝利したドイツ戦やスペイン戦 で途中出場し、貴重なゴールを決めた選手です。 「出場したら俺が決めてやる」とかゴールした後 は「あれは俺のコースだ」といった自信に満ちた 発言が話題になりました。そんな堂安選手ですが 実は誰よりも現実をよく見る繊細な心の持ち主 で、オランダリーグに挑戦した20歳のころは全 く成果を上げることができず落ち込んだ時期も あったそうです。しかし、目標を明確に掲げ、そ のことを口にすることにより、目標とする自分に 近づけています。誰よりも努力を重ねています。 「あれは俺のコースだ」という右45度のミドル からのシュート練習は「キーパーを立たせないで も何回もやった、だから目をつぶってもあそこに ボールが来たら必ず決める自信がある」と言って います。練習の中で納得がいくまでとことんやり ぬいているからこその自信であることがわかり ます。堂安選手は自分のことを一つの視点からだ けではなくいくつもの視点から見て自分を分析

しています。そして望ましい方向に自分を向かわせています。

生徒の皆さんは中学生の時に「課題を見つけ」、「その解決のための見通しを持つ」、「活動を行う」、「一連の活動を振り返る」といった活動のサイクルを身に付けられるといいなと思います。このことを身に付けることは、これからの変化の激しい社会で自分らしく生きていくうえで大切だと思うからです。

今、学校では「自ら考え、判断し、表現するタフな生徒」になってほしいと願って様々な取り組みをしています。3学期にはさらにこのことにせまれる活動となることを期待します。

最後に、明日からの冬休みを過ごすにおいて3 つお願いをします。

1つ目は、新年の抱負を考えてほしいということです。令和4年度の9か月を振り返って残り3か月で自分の良さをさらに伸ばすために何を頑張るのか、なりたい自分になるためにどんなことに力を入れるのか、そんなことを考えて抱負を立ててみてください。

2つ目は、新年の抱負を実現するための行動を 考え、実行に移してください。毎日やり続けるこ とはとても難しいです。人間の脳は三日坊主にな るようにできているそうですから、継続できなく ても嘆く必要はありません。ただ、ときどき抱負 を思い出して実現するための行動を心がけるよ うにしてみてください。それだけで夢に近づくこ とができます。

3つめは、ネットに振り回されないということです。ネット上には本当か嘘かわからない情報が日夜飛び交っています。SNSで発信される情報にはきらびやかで他人の暮らしがうらやましくなるようなものや、人の判断を誤らせるフェイクニュースや、誹謗中傷などが含まれます。関わらない、無視するのが一番いいと思いますが、どうしてもSNSに触れなければならない場合は、当事者としてのめりこむのではなく一歩下がって俯瞰してほしいと願います。

三年生にとっては希望の進路実現に向けて重要な冬休みです。みんなで乗り切りましょう。

令和5年が皆さんにとって幸多からんことを 心から願うとともに、子供たちの成長にとってよ り良い方法で教育活動を推進してまいります。よ ろしくお願いします。

※新型コロナウイルス感染症の感染者が急増しています。感染症対策をしながら良い新年をお迎えてく ださい。冬休みも油断大敵!!マスク、換気、手洗い、手指消毒に努めましょう。